

科目名 (英)	はりきゅう実技Ⅲ Practice of Acupuncture and MoxibustionⅢ	必修 選択	必修	年次	3年次	担当教員	前田 見太郎/河村廣定
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	45 1	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】							
<p>はりきゅう実技Ⅲでは多様化する社会的ニーズに対応しうる様々な施術能力を養うために、臨床現場で行われている様々な手技の目的、方法、作用などの知識のほかに、禁忌やリスクを学習し、診察から施術までの流れに必要な能力を修得する。</p> <p>前田 実務実績 付属治療院での診察から治療までの業務に従事 各種スポーツのトレーナー活動 医療系専門学校にて教鞭をとる。 資格 はり師・きゅう師、JRFUセーフティアシスタント</p>							
【到達目標】							
<p>はり師・きゅう師として患者のニーズに合わせた施術が選択できるよう各種療法を身に付ける。</p> <p><具体的な目標> 目標①様々な鍼灸療法に関して、適切な施術ができる。 目標②各種療法の適応について説明できる。 目標③疾病、症候に合わせた療法を選択できる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	反応点療法 反応点療法と自律神経反射の関係について理解する。
2回目	反応点療法 反応点療法と自律神経反射の関係について理解する。
3回目	反応点療法 反応点の触察を行うことができる。
4回目	反応点療法 反応点に対する刺鍼を行うことができる。
5回目	反応点療法 反応点(筋緊張部)の出現メカニズムを理解することができる。
6回目	反応点療法 腰痛・膝痛発生時の反応点の診かたについて理解することができる。
7回目	反応点療法 腰痛・膝痛発生時の反応点への刺鍼・接触刺激を行うことができる。
8回目	反応点療法 頭痛・めまい発生時の反応点の診かたについて理解することができる。
9回目	反応点療法 頭痛・めまい発生時の反応点への刺鍼・接触刺激を行うことができる。
10回目	反応点療法 肩痛・内臓疾患等発生時の反応点の診かたについて理解することができる。
11回目	反応点療法 肩痛・内臓疾患等発生時の反応点への刺鍼・接触刺激を行うことができる。
12回目	反応点療法 疲労と反応点の出現について理解することができる。
13回目	反応点療法 生殖器・泌尿器の異常発生時の反応点の診かたについて理解することができる。
14回目	反応点療法 生殖器・泌尿器の異常発生時の反応点への刺鍼・接触刺激を行うことができる。
15回目	反応点療法 排泄異常発生時の反応点の診かたについて理解することができる。
準備学習 時間外学 習	この科目では、事前の準備学習は必要ありません。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生へ のメッセー ジ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	はりきゅう実技Ⅲ Practice of Acupuncture and MoxibustionⅢ	必修 選択	必修	年次	3年次	担当教員	前田 見太郎/河村廣定
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	45 1	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】							
<p>鍼灸治療をするにあたって臨床の場では疾病、症候に合わせて個々の体質、コンディション、感受性などを踏まえて治療内容を組み立てることが必要不可欠である。</p> <p>はりきゅう実技Ⅲでは多様化する社会的ニーズに対応しうる様々な施術能力を養うために、臨床現場で行われている様々な手技の目的、方法、作用などの知識のほかに、禁忌やリスクを学習し、診察から施術までの流れで必要な能力を修得する。</p> <p>前田 実務実績 附属治療院での診察から治療までの業務に従事 各種スポーツのトレーナー活動 医療系専門学校にて教鞭をとる。 資格 はり師・きゅう師、JRFUセーフティアシスタント</p>							
【到達目標】							
<p>はり師・きゅう師として患者のニーズに合わせた施術が選択できるよう各種療法を身に付ける。</p> <p><具体的な目標></p> <p>目標①様々な鍼灸療法に関して、適切な施術ができる。</p> <p>目標②各種療法の適応について説明できる。</p> <p>目標③疾病、症候に合わせた療法を選択できる。</p>							

【使用教科書・教材・参考書】	
16回目	反応点療法 排泄異常発生時の反応点への刺鍼・接触刺激を行うことができる。
17回目	よく遭遇する症候に対する鍼灸治療 肩運動障害のメカニズムについて理解することができる。肩インピンジメント症候群・肩関節拘縮(肩関節周囲炎)の診かたを理解することができる。
18回目	よく遭遇する症候に対する鍼灸治療 肩インピンジメント症候群・肩関節拘縮(肩関節周囲炎)の鍼灸施術および運動療法を行うことができる。
19回目	よく遭遇する症候に対する鍼灸治療 腰痛のメカニズムについて理解することができる。腰痛の診かた(鑑別診断を症状や検査等)を理解することができる。
20回目	よく遭遇する症候に対する鍼灸治療 腰部椎間関節障害や仙腸関節障害、筋膜性、椎間板ヘルニア、滑り分離症を含めた鍼灸施術および運動療法を行うことができる。
21回目	神経ブロック点刺鍼 神経ブロックについて理解することができる。
22回目	神経ブロック点刺鍼 神経ブロック点について解剖学的に理解することができる。
23回目	神経ブロック点刺鍼 神経ブロック点への刺鍼を行うことができる。
24回目	神経ブロック点刺鍼 神経ブロック点への刺鍼を行うことができる。
25回目	
26回目	
27回目	
28回目	
29回目	
30回目	
準備学習 時間外学 習	この科目では、事前の準備学習は必要ありません。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生へ のメッセー ジ	
【使用教科書・教材・参考書】	